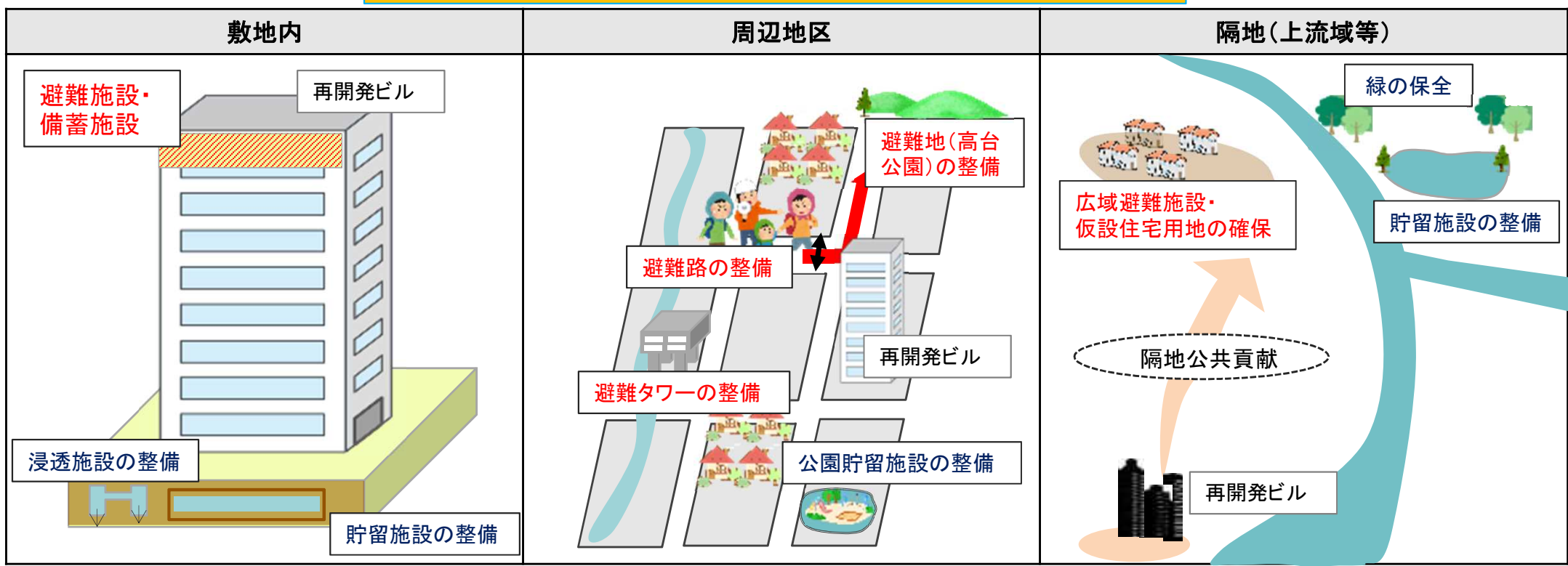


水災害対策と連携した容積率緩和制度の創設

- 課題**
- 近年、各地で大水害が発生しており、今後、気候変動の影響により、水災害が頻発化・激甚化することが懸念されており、都市における水災害対策の必要性が高まっている。
 - これまで、地域固有の課題に基づいた先行事例（再開発ビルの下に雨水貯留池などを整備した事例）はあるものの、都市開発プロジェクトにおいて水災害対策との連携についての観点は薄かったところ。
- 対応**
- 都市開発プロジェクトにおける水災害対策（公共貢献内容）を評価し、容積率を緩和する制度を創設する。

プロジェクトとの関係に応じた水災害対策の手法（イメージ）



(青字)内水・洪水被害の軽減 (赤字)住民の避難支援